



国際深海科学掘削計画 (IODP) 研究航海関連活動報告書

提出年月日：平成 29 年 7 月 2 日

氏名：佐川 拓也

所属機関・職名：金沢大学・助教

活動の種類 (該当項目を残す)	3. Sampling party
IODP 研究航海番号 および航海名	Expedition 363 Western Pacific Warm Pool
乗船時の役割	Sedimentologist
出張期間 (移動も含む)	平成 29 年 6 月 17 日 ~ 平成 29 年 6 月 26 日
用務地 (国・都市)	アメリカ合衆国・カレッジステーション
本活動における成果	
<p>IODP Expedition 363 Western Pacific Warm Pool のサンプリングパーティーが、テキサス A&M 大学の IODP コアレポジトリーで 6 月 19 日から 30 日に開催された。佐川は 17 日に金沢を出発後、18 日夕方にカレッジステーションに到着した。サンプリング作業に 6 日間参加した後、現地を 25 日早朝に出発して 26 日夜に金沢へと戻った。本航海は、2016 年 10~12 月にインド洋オーストラリア北西沖~西部太平洋カロリン海盆にかけた合計 9 地点 (U1482-U1490) にて、総長 7000 m 弱の堆積物コアを採取した。2 週間のサンプリングパーティーで約 5 万サンプルを分割するため、参加者は 2 シフト (8:00-14:00, 14:00-20:00) に分かれ作業を行った。サンプリング期間中には乗船研究者と今後の共同研究の方針について議論をする機会もあり、非常に有意義なサンプリングパーティーであった。分割試料は数週間のうちに各研究者へと発送され、本格的な乗船後研究が開始される予定である。</p>	
備考	

注意事項

1. 当報告書は出張終了後 2 週間以内に海洋研究開発機構研究推進部内 IODP/J-DESC 旅費サポートに E-mail (travel@j-desc.org) でご提出ください。



国際深海科学掘削計画 (IODP) 研究航海関連活動報告書

提出年月日：平成 29 年 7 月 4 日

氏名：山本正伸

所属機関・職名：北海道大学・准教授

活動の種類 (該当項目を残す)	3. Sampling party
IODP 研究航海番号 および航海名	Exp. 363 Western Pacific Warm Pool
乗船時の役割	Organic Geochemist (例 Sedimentologist)
出張期間 (移動も含む)	平成 29 年 6 月 24 日 ~ 平成 29 年 7 月 2 日
用務地 (国・都市)	米国・カレッジステーション
<p>本活動における成果</p> <p>IODP Exp. 363 Western Pacific Warm Pool において採取されたコアについてサブサンプリングを行った。作業は 6 月 19 日から 6 月 30 日までの期間行われ、U1484 サイトをのぞく全サイトの堆積物から約 48000 個の試料がサブサンプリングされた。山本はリスボンでの Science Evaluation Panel 会議が終了後に参加し、6 月 25 日から作業に加わった。</p> <p>作業は、Exp.363 の乗船者のほとんどと、その学生、コア保管庫の職員、テキサス A&M 大学の学生により行われた。朝 8 時から午後 2 時までの午前シフトと、午後 2 時から 8 時までの午後シフトに分かれて作業を行った。午前シフトには昼食が、午後シフトには夕食がデリバリー形式で供された。ホテルは指定されたところに宿泊し、コア保管庫まではバスによる送迎があった。</p> <p>今回サブサンプリングされた U1486 および U1488 サイトの試料は、過去 300 万年間の西部太平洋水温変動と大気二酸化炭素濃度の復元に用いられる。今回サブサンプリングされなかった U1484 については、XRF スキャナー分析のデータに基づいたコア間対比が完了した後、秋頃にサブサンプリングが実施される予定である。山本は U1484 サイトの分析を担当しているので、再度コア保管庫に赴き、サブサンプリングを行う予定である。</p>	
備考 今年のテキサスは雨に恵まれ、緑の草原に覆われていた。	

注意事項

1. 当報告書は出張終了後 2 週間以内に海洋研究開発機構研究推進部内 IODP/J-DESC 旅費サポートに E-mail (travel@j-desc.org) でご提出ください。



国際深海科学掘削計画 (IODP) 研究航海関連活動報告書

提出年月日： 2017 年 8 月 28 日

氏名：熊谷 祐穂

所属機関・職名：東北大学大学院 理学研究科地学専攻 博士課程 2 年

活動の種類 (該当項目を残す)	3. Sampling party
IODP 研究航海番号 および航海名	Expedition 363 Western Pacific Warm Pool
乗船時の役割	Paleomagnetist (例 Sedimentologist)
出張期間 (移動も含む)	2017 年 8 月 5 日 ~ 2017 年 8 月 22 日
用務地 (国・都市)	IODP Gulf Coast Repository (カレッジステーション・テキサス州・アメリカ)
<p>本活動における成果</p> <p>アメリカ・カレッジステーションにおいて、IODP Exp. 363 の古地磁気測定用試料のサンプリングを行った。自身のリクエストしたサイト U1490, 及び U1485 からの U チャネル試料 (約 300 サンプル) についてのサンプリングを行い、最終的には 125 試料のサンプリングを終えることができた。約 2 週間の期間中、前半には東北大学の学生、後半には Texas A&M 大学の学生の助力を得ることができた。U1490 の非常にかたい堆積物に対しては、レポジトリ所有の電動カッターを使用した。U1490 については下部のセクションの XRF スキャンが未完了であり、今回は採取できなかった。また U1485 については、リクエスト部分の約半分がパーマネントアーカイブ (保存用セクション) に指定され、新たなサンプリング戦略が必要となった。以上の理由から、Texas A&M 大学と次回サンプリングの打ち合わせを行っていくこととなった。</p> <p>また、サンプリング期間の後半 (8 月 14 日~18 日) には、Exp. 363 の Editorial meeting (レポート編集のためのミーティング) が開催されており、参加していた Paleomagnetist の Robert G. Hatfield 氏と Sedimentologist の Ivano Aiello 教授とは、予察的な古地磁気データと粒度分析結果を持ち寄り、今後の共同研究についての有益な打ち合わせを行うこともできた。</p>	
備考	

注意事項

1. 当報告書は出張終了後 2 週間以内に海洋研究開発機構研究推進部内 IODP/J-DESC 旅費サポートに E-mail (travel@j-desc.org) でご提出ください。